

No.	ご質問内容	回答
001	令和5年度実施状況報告の対象期間について教えてください。	2024年4月15日にメールでご案内のとおり、「2023年4月1日～2024年3月31日」を報告期間といたします。この期間に遺伝カウンセリングを実施した症例についての報告をお願いします。なお、2023年10月1日認証登録開始の施設については、2023年10月1日～2024年3月31日に遺伝カウンセリングを実施した症例についての報告をお願いします。
002	検査会社との契約書の提出を求められていますが、複数年の契約で変更がない場合も毎年提出する事になるのでしょうか？	契約状況確認のため、原則毎年ご提出ください。
003	(1)NIPT に関する遺伝カウンセリングを実施した総数 1. 上記項目は、検査前同じ患者に対してカウンセリングを複数回行った場合、それぞれカウントしてよいか 2. 検査前・検査結果説明時、それぞれカウントしてよいか	NIPTに関わる検査前後の対応全体を1組について1回、とまとめてカウントしてください。
004	NIPTに関する遺伝カウンセリング後にNIPT検査を受けなかった妊婦数の中の1例は、NIPTは受けずに羊水検査を受けることを選択されました。そのようなことを記載する欄がなかったので、そのことは記述していませんが、そのような報告は不要でしょうか？	今回の様式に上記の状況を記載する欄は作成しておらず、申し訳ございません。1.(10),2.(10)の欄外に、「※(2)NIPTに関する遺伝カウンセリング後にNIPT検査を受けなかった妊婦数のうち、1例はNIPTは受けずに羊水検査を受けることを選択」と追記をお願いいたします。
005	連携施設で判定保留で基幹病院に紹介となった場合のカウントはどうなりますか？	紹介を受けた判定保留数と、紹介先（自院）での再検査結果を欄外に記載してください。
006	1. 令和5（2023）年度の前年（令和4年度・2022年度）（2022年認証登録開始日～2023年3月31日に遺伝カウンセリングを実施した症例についての報告）追加分には、「受検者の年齢分布」と「検査週数分布」を報告する欄がありますが、2. 令和5（2023）年度（2023年4月1日～2024年3月31日に遺伝カウンセリングを実施した症例についての報告）にはその2項目がありません。報告は不要でしょうか？	令和5年度の報告については、検査分析機関に「受検者の年齢分布」と「検査週数分布」を報告いただくことにしたため、医療機関からの報告は不要となりました。
007	NT肥厚やcystic hygromaで基幹施設のNIPT外来に紹介となり、カウンセリングを行いNIPTを施行した症例、NIPTを施行せずAAしたり羊水検査をした症例、クアトロ陽性で基幹施設へ紹介となり、カウンセリングを行ってNIPTか羊水検査の選択肢を提示し羊水検査を選択された症例等、2(1)NIPTの受検に関する遺伝カウンセリングを実施した総数に含めますか？	カウンセリング後のNIPT以外の方向性（AAや羊水検査等）に関わらず、NIPTの受検に関する遺伝カウンセリングを実施した総数の記載をお願いします。 2（2）で、そのうちNIPTを選択した妊婦を集計します。

008	連携施設で判定保留だった症例に関しては、NIPTを受けた妊婦数には含めず枠外に記載するようにはしましたが、2(1) NIPTの受検に関する遺伝カウンセリングを実施した総数 には含めてよろしかったでしょうか？	基幹施設において、紹介後に改めてNIPT再受検するにあたっての遺伝カウンセリングを実施した場合には、総数に加えてください。
009	1. (13) 2. (11)陽性の内訳のIUFDには、自然流産での死産（子宮内では心拍があったが、妊娠22週未満に分娩になってしまった）も含めるのでしょうか。	1.(13),2.(11)陽性の内訳のIUFDには、自然流産での死産（子宮内では心拍があったが、妊娠22週未満に分娩になってしまった）も含めてください。 ただし、情報開示できる範囲で詳細を欄外または枠内にご追記いただきますようお願いいたします。（例えば、産む予定で流産した、確定検査待ちの間で流産した、等）
010	(12)(13)「陰性後、胎児・新生児疾患が判明した症例数」はどの程度の疾患までを対象とするか、基準があるのか？	「先天異常モニタリングにおいて報告している疾患、あるいはICD-11の先天異常に掲載されている疾患」を対象といたします。
011	(12)(13)の「その他」に該当する症例は、何らかの先天性疾患すべてでしょうか、それとも21,13,18番以外の染色体疾患という意味でしょうか。	「その他」に該当する症例につきましては、「何らかの先天性疾患すべて」としてご記入をお願いいたします。
012	2 (13) 陰性後、胎児・新生児疾患が判明した症例数（令和4年度）に遺伝カウンセリングを行いNIPTを実施した症例 とは、昨年度に報告した症例は除きますか？ 昨年度と重複しますが、令和4年度NIPTを実施した症例の全例の転帰の報告で合っていますか？	昨年度に報告した症例は除き、追加がある場合のみ、追加分をご記載ください。
013	2(15) 出生前コンサルト小児科医紹介数は出生前診断全般に関して紹介した数として報告していいのでしょうか？ つまり、2(1)のNIPTの受検に関する遺伝カウンセリングを実施した症例の中で小児科に紹介した数か、 2(1)に関係なく出生前診断全般的に関して、小児科へ紹介した数としてでしょうか？	NIPT等の出生前検査に関する一連の遺伝カウンセリングに何らかの形で紹介され関与した場合は記載をお願いします。
014	2(17)の件数は、2(1)のNIPTの受検に関する遺伝カウンセリングを実施した総数には含めず別件としましたが、その扱いでありますか？	別件としてのカウントをお願いします。
015	最後から3行目と4行目の 「報告担当者（記載者）署名」 「施設責任者（部署長もしくは院長）署名」の署名に関して、 署名とは直筆のサインと認識しているのですが、連携施設からの報告書でパソコンで打ちこまれた名前が記載されている施設があります。修正を依頼したほうが良いのでしょうか？	「署名」はお見込みのとおり、直筆のサインを求めています。 パソコンで入力したお名前では受理できませんので、修正のご依頼をお願いいたします。